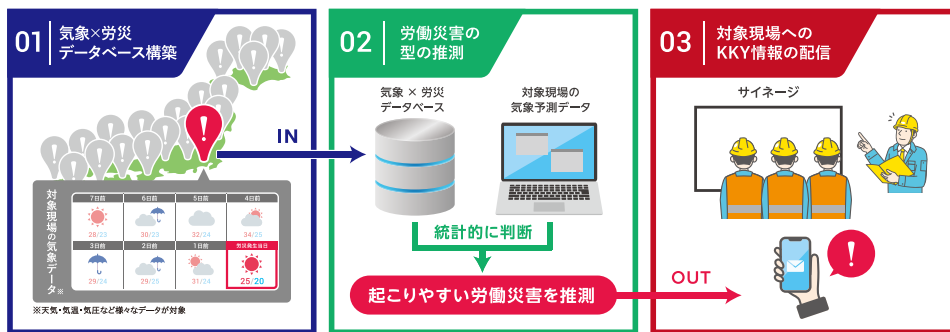


06

気象×労災データでKY活動支援



その日に起こりやすい労働災害を、
気象情報で予報



KKY(気象危険予知)とは？

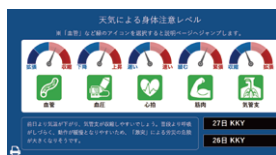
気象情報から、現場で起こりやすい労働災害を推測し、注意喚起情報を配信するシステムです。これまで注目されてこなかった労働災害と気象との関連性を見出し、「生気象」の考えを適用した解説を加えてWEB配信します。



現場での活用ポイント

身体への気象負荷がわかる

気象変化による身体への影響を指数化。持病への対策や身体が動かしにくいことによるケアレスミス軽減を支援。



メールでも情報把握できる

1日1回、現場指定の時間に、明日の気象予測から「起こりやすい労働災害の型」を推測し配信。



新たな視点でマンネリ防止

自分の経験以外の事象にも気づきが生まれ、作業中も危機感を持って作業にあたることができる。

